

門前町のにぎわいを復活させた

路地裏文化プロジェクト

◆第7回静岡県景観賞最優秀賞受賞

大社の杜みしま

(三島市)



敷地の中心に設けた開放感あふれるテラス席。観光客の憩いの場としても親しまれている。

旧東海道を挟んで三嶋大社のほぼ正面に行む「大社の杜みしま」は、かつて栄えた門前町のにぎわいを現代に取り戻すために建てられた複合商業施設だ。敷地の中央に設けたテラスを囲うように、間口2間ほどの小さな店舗が軒を連ねる様子は、古き良き路地裏を偲ばせるが、洗練された建築美は都市の中に浮かぶオアシスのよう。建物の外壁に杉板、漆喰、銅板を使用しているため、三嶋大社の本殿に通じる趣もある。

同施設を建設したのは「加和太建設株式会社」。地元の公共工事などに関わる三島生え抜きの企業だ。同社内にある大社の杜みしま運営事務局でチーフコーディネーターを務める遠藤将さんは「プロジェクトの根幹にあるのは地域の活性化。この施設を起爆剤にして周辺に『にぎわい』を創出し、三嶋大社前の門前町に活気を取り戻したいという思いが計画の発端です」と語る。

同施設がオープンしたのは2013年の11月。現在の店舗数は14軒。飲食店、カフェ、スイーツショップ、雑貨店など、販売品目やサービスは多種多様だが、出店しているのは三島を中心に、すべて県内東部の企業ばかりだ。地域の活性化を目指す「大社の

杜みしま」は、コミュニティの形成に力を注いでいる。「単に物品を販売するだけでなく、地域の魅力を発信する情報基地でありたい。そのため三嶋大社や三島市で行われる行事に合わせてイベントやフェアなどを開催しています。例えば6月の『百花展』はカーデンスティ・三島と、7月の『水遊美(みずあそび)』は水の都・三島にちなんでいます」と遠藤さんは語る。地域の文化に寄り添うコミュニティを持つ「大社の杜みしま」。「最近では近隣の人たちから『以前と比べて人の流れが変わってきた』と言われることも増えました」と遠藤さんも語るように、三嶋大社周辺は同施設を中心に周囲の建物等がその景観に合わせるように変化し、門前町のにぎわいを取り戻しつつある。そんな魅力あふれる街並みづくりが評価され、同施設は第7回静岡県景観賞の最優秀賞を受賞した。

大社の杜みしま
静岡県三島市大社町18-52
電話/055-975-0340
営業時間/夏期 10:00~22:00
冬期 10:00~20:00
(店舗により営業時間は異なります)
JR三島駅から徒歩約12分



イベントでは多数の来場者が訪れ、三島の魅力に触れている。首都圏や他県から訪れる人も多い。



大社の杜みしま運営事務局でチーフコーディネーターを務める遠藤将さん。「この施設のテーマは絆な路地裏です」と語る。

◎目次

1 静岡景観
大社の杜みしま

3 ◆知事鼎談
霊峰・富士に
立脚した、
富士の国づくり。

大原美術館館長・東京大学名誉教授
高階秀爾氏
静岡県立美術館館長・東京大学名誉教授
芳賀徹氏 鼎談

9 ◆知事対談
和の食文化を
世界へ。

(株)三越伊勢丹ホールディングス
代表取締役社長執行役員
大西洋氏 対談

11 ふじのくにの地域外交
中国・浙江省、モンゴル、韓国編
13 次代を拓く
ノブオ電子株式会社

14 ふじのくにから世界へ
静岡の「茶」と「食」が目指す
輸出拡大に向けたグローバル展開

15 ◆県政特集
スポーツの力で
国際交流の輪を広げる。

17 ふじのくにを食す
あさはた連根

18 句の人
伊藤美誠さん

